

ダムの役割 親子が学ぶ

尾原、三成で30人

親子でダムの仕組みや働きについて学ぶ学習会が27日、雲南市と奥出雲町であった。約30人が尾原ダム（雲南市・奥出雲町）や三成ダム（奥出雲町三成）などを見学し、理解を深めた。

学習会は、県技術士会青年部会（和泉孝嗣部会長）が主催。子どもたちに社会インフラに興味を持ってもらい、技術者を職業に選んでもらえるようにと企画し、今回で4回目になる。子どもたちは尾原ダムの

紙面編集・似内 貴幸

放水ゲートを間近で見たり、ダムのゲートをウイナーで表現した「ダムカレー」を食べたりした。

三成ダムでは、管理する県企業局の職員から砂防と



三成ダムの堤体の上を歩く参加者

発電というダムの役割について学び、普段は入ることができない堤体の上を歩き、ダムの壮大な景観を堪能した。

松江市立美保関小学校5年の桑垣孝多君（10）は「三成ダムは土砂をためて出すことを学んだ。ダムカレーはおいしかった」と話した。

（狩野樹理）